

# 分数の通分

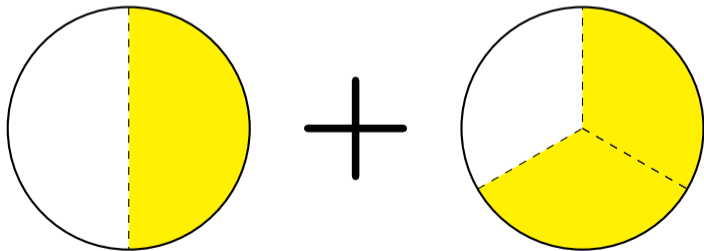
$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3}$$

を計算しなさい

# 分数の通分

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3} \quad \text{を計算しなさい}$$

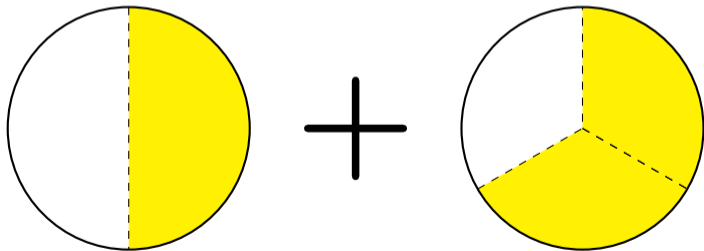
**分母が違う**と、直接計算ができない。



# 分数の通分

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3} \quad \text{を計算しなさい}$$

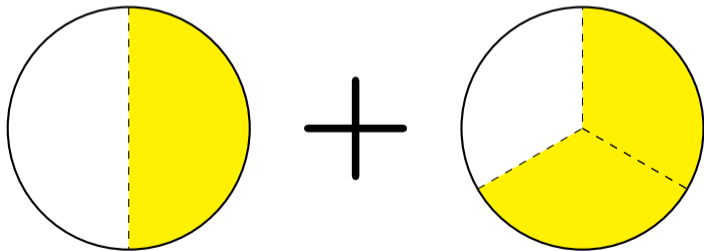
そこで、まず**基準を統一**しよう。



# 分数の通分

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3} \quad \text{を計算しなさい}$$

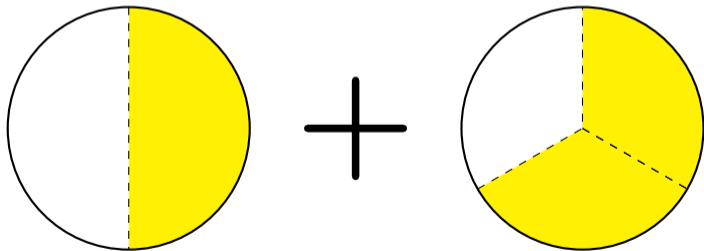
**2** の倍数は 2, 4, 6, 8, ... だ。



# 分数の通分

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3} \quad \text{を計算しなさい}$$

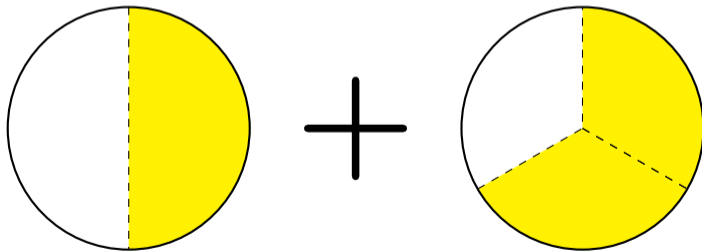
**3** の倍数は 3, 6, 9, 12, ... だ。



# 分数の通分

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3} \quad \text{を計算しなさい}$$

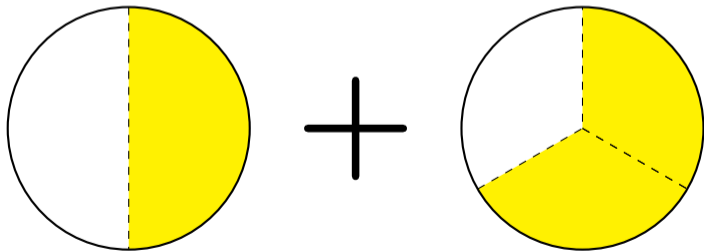
**2** の倍数と **3** の倍数で、最初に一致するのは 6



# 分数の通分

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3} \quad \text{を計算しなさい}$$

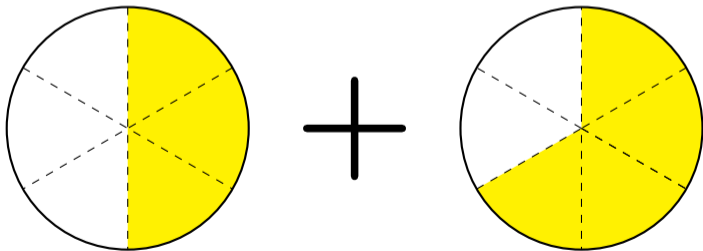
これを『**2** と **3** の最小公倍数は 6』という。



# 分数の通分

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3} \quad \text{を計算しなさい}$$

そこで  $\frac{1}{6}$  を基準とする。

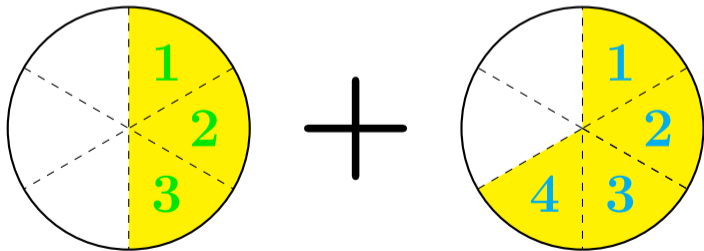




# 分数の通分

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3} \quad \text{を計算しなさい}$$

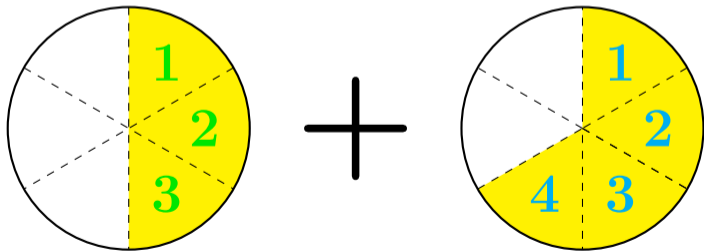
すると  $\frac{1}{6}$  が 7 個分 (= 3 + 4) なので



# 分数の通分

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3} = \frac{3}{6} + \frac{4}{6}$$

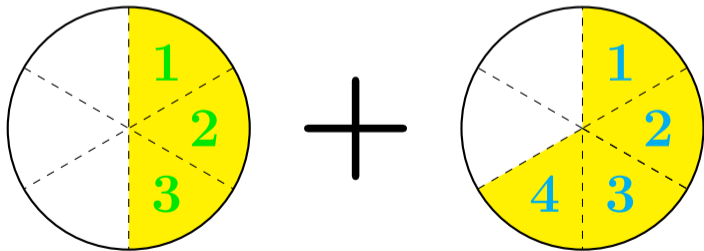
すると  $\frac{1}{6}$  が 7 個分 (= 3 + 4) なので



# 分数の通分

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3} = \frac{3}{6} + \frac{4}{6} = \frac{7}{6} \text{ となる}$$

すると  $\frac{1}{6}$  が 7 個分 (= 3 + 4) なので



## 通分のまとめ

$\frac{1}{2} + \frac{2}{3}$  を計算するには、通分して

# 通分のまとめ

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3}$$

を計算するには、通分して

$$= \frac{1 \times 3}{2 \times 3} + \frac{2 \times 2}{3 \times 2}$$

# 通分のまとめ

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3}$$

を計算するには、通分して

$$= \frac{1 \times 3}{2 \times 3} + \frac{2 \times 2}{3 \times 2}$$

$$= \frac{3}{6} + \frac{4}{6}$$

# 通分のまとめ

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3}$$

を計算するには、通分して

$$= \frac{1 \times 3}{2 \times 3} + \frac{2 \times 2}{3 \times 2}$$

$$= \frac{3}{6} + \frac{4}{6} = \frac{3 + 4}{6}$$

# 通分のまとめ

$$\frac{1}{2} + \frac{2}{3}$$

を計算するには、通分して

$$= \frac{1 \times 3}{2 \times 3} + \frac{2 \times 2}{3 \times 2}$$

$$= \frac{3}{6} + \frac{4}{6} = \frac{3 + 4}{6} = \frac{7}{6}$$



## 分数の通分 (その 2)

$$\frac{7}{12} + \frac{3}{14}$$

のときは

## 分数の通分 (その 2)

$$\frac{7}{12} + \frac{3}{14} \quad \text{のときは}$$

**12** ( $= 2 \times 2 \times 3$ ) , **14** ( $= 2 \times 7$ ) なので  
最小公倍数は  $2 \times 2 \times 3 \times 7$  になる。

## 分数の通分 (その 2)

$$\frac{7}{12} + \frac{3}{14} \quad \text{のときは}$$

**12** ( $= 2 \times 2 \times 3$ ) , **14** ( $= 2 \times 7$ ) なので  
最小公倍数は  $2 \times 2 \times 3 \times 7$  になる。

だから分母が  $2 \times 2 \times 3 \times 7$  になるように変形する。

$$2 \times 2 \times 3 \times 7 = 12 \times 7$$

$$2 \times 2 \times 3 \times 7 = 14 \times 6$$

## 分数の通分（その2）

$$\frac{7}{12} + \frac{3}{14}$$

を計算するには、通分して

## 分数の通分（その2）

$$\frac{7}{12} + \frac{3}{14} \quad \text{を計算するには、通分して}$$
$$= \frac{7 \times 7}{12 \times 7} + \frac{3 \times 6}{14 \times 6}$$

## 分数の通分（その2）

$$\begin{aligned} & \frac{7}{12} + \frac{3}{14} \quad \text{を計算するには、通分して} \\ = & \frac{7 \times 7}{12 \times 7} + \frac{3 \times 6}{14 \times 6} \\ = & \frac{49}{84} + \frac{18}{84} \end{aligned}$$

## 分数の通分 (その2)

$$\begin{aligned} & \frac{7}{12} + \frac{3}{14} \quad \text{を計算するには、通分して} \\ = & \frac{7 \times 7}{12 \times 7} + \frac{3 \times 6}{14 \times 6} \\ = & \frac{49}{84} + \frac{18}{84} = \frac{49 + 18}{84} \end{aligned}$$

## 分数の通分 (その2)

$$\begin{aligned} & \frac{7}{12} + \frac{3}{14} \quad \text{を計算するには、通分して} \\ = & \frac{7 \times 7}{12 \times 7} + \frac{3 \times 6}{14 \times 6} \\ = & \frac{49}{84} + \frac{18}{84} = \frac{49 + 18}{84} = \frac{67}{84} \end{aligned}$$